

科目名	実習Ⅱ－A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80 %
時間数	180	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

レディスウェアの基本アイテムであるジャケット(チャック柄テーラードカラー・ショールカラー)、コート(ラグランスリーブ・フライフロント)、カットソー、部分縫いにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。

企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期	
1・2	部分縫い	箱ポケット	31・32	カットソー概論(ミシン講習授業外→希望者のみ)
3・4	部分縫い	ファスナーポケット	33・34	カットソーパターン
5・6	部分縫い	雨蓋ポケット	35・36	カットソー裁断
7・8	ショールカラーのジャケットの製図		37・38	カットソー縫製
9・10	ショールカラーのジャケットの裁断		39・40	カットソー縫製
11・12	ショールカラーのジャケットの縫製		41・42	チェックテーラードジャケットの製図
13・14	↓		43・44	チェックテーラードジャケットの裁断
15・16	↓		45・46	チェックテーラードジャケットの裁断
17・18	↓		47・48	チェックテーラードジャケットの縫製
19・20	↓		49・50	チェックテーラードジャケットの縫製
21・22	↓		51・52	↓
23・24	部分縫い	薄物始末	53・54	↓
25・26	部分縫い	薄物始末	55・56	↓
27・28	ショールカラーのジャケット縫製		57・58	↓
29・30	仕上げ	提出	59・60	↓
			61・62	↓
			63・64	↓
			65・66	↓
			67・68	ラグランスリーブのコートの製図
			69・70	ラグランスリーブのコートの裁断
			71・72	ラグランスリーブのコートの縫製
			73・74	↓
			75・76	↓
			77・78	↓
			79・80	↓
			81・82	↓
			83・84	↓
			85・86	↓
			87・88	↓
			89・90	仕上げ 提出

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『テーラリングテクニック』『ジャケット』『コート』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具・洋裁道具一式・製図用具一式

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80%
時間数	90	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるシャツ、パンツにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。
また、企業研究に基づいた、各企業に提案出来る創作作品を製作する。

【科目の概要】

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	シャツの製図	31	創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の製図
3・4	シャツの裁断、芯貼り	32	
5・6	シャツの縫製	33	創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の仮縫い
7・8	シャツの縫製	34	
9・10	シャツの縫製	35	創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の裁断
11・12	シャツ 仕上げ 提出	36	創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の芯貼り
13・14	スラックスの仮縫い準備・仮縫い	37	創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の縫製
15・16	スラックスの仮縫い・補正	38	↓
17・18	パンツのパターン展開・仮縫い	39	↓
19・20	パンツパターン作成	40	↓
21・22	パンツの裁断・縫製	41	↓
23・24	パンツの縫製	42	↓
25・26	パンツの縫製	43	↓
27・28	パンツの縫製、仕上げ	44	創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)のプレゼン準備
29・30	提出	45	創作作品のプレゼンテーション(試験)

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具・洋裁道具一式・製図用具一式

科目名	パターンメイキングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習 80%
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	(1/2)パンツ バギー・ベルボトム	31	BEACH WEAR 製図
2	(1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ	32	トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り
3	スラックスパターン作成(自分サイズ)	33	(1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ
4	デザインパンツ 製図	34	(1/2)どれか1型トワール組み
5	トワール組み(両身)	35	スカートのバリエーション
6		36	
7	ダーツ操作のバリエーション ウエスト2型	37	
8	センター・ゴージ	38	トワール組み
9	ショルダー・アームホール	39	工業パターン作成・仕様書作成
10	襟のバリエーション スタンドカラー2種	40	
11	シャツ・台襟シャツ	41	身幅の移動OP増量→JK、COへ
12	フラットカラー・ステンカラー	42	キモノ袖原型→カット無しへ(2型トワール検討)
13	袖のバリエーション 谷1/3・3/1-1.5	43	メンズシャツ 製図
14	谷1/3-5 トワール組み	44	パーツパターン抜き出し
15	タック・フレアー・ランタン	45	トワール組み
16	ペタル・ジゴ	46	
17	BLOUSE 製図	47	子供服 原型、子供ワンピース
18		48	トワール組み
19	トワール組み	49	ジーンズ 製図
20		50	パーツパターン抜き出し
21	創作ブラウス 製図	51	トワール組み
22		52	
23	上記の中からダーツ操作身頃+襟+袖1体トワール組	53	工業パターン作成・仕様書作成
24		54	
25	工業パターン、仕様書作成	55	マウンテンパーカー
26		56	
27	Tシャツ 製図	57	トワール組み
28	縫い代付きパターン・仕様書作成	58	
29	まとめ	59	まとめ
30		60	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』

山路俊美『メンズ製図集抜粋』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏

科目名	オートクチュール技術Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
専攻	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2 年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	大西智子

【科目の到達目標】

オートクチュールの意味を理解し 基本的な縫製技術から、高度な縫製技術を修得し、美しいシルエット創りや体型や素材に応じたパターン作製、縫製ができる人材の育成。

【科目の概要】

オートクチュール概論、採寸方法、自分サイズボディ、肩パッドの作成技術を修得する。

【授業計画】 90分/コマ	前期	後期
		1・2 概論/ボディ作り 採寸、製図 2名1組で採寸⇒製図 3・4 ボディ作り トワール組み立て しろも糸で地縫い⇒組み立て 5～10 ボディ作り 仮縫い説明、第一仮縫い 3名1組で仮縫い 11～18 ボディ作り 第二仮縫い 3名1組で仮縫い 19～24 ボディ作り ボディの削り、綿つみの説明 トワール地縫い、ボディの削り、綿つみ 25～28 ボディ作り 付属トワールの説明 衿付け、AHプレート付け、裾テープつけ 29～30 肩パッド作り 説明 肩パッド作り方

【成績評価方法】

課題作品7点の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版
上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
教員作成オリジナルプリント『オートクチュール技術』

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式
実物作品、部分縫い見本

	ドレーピングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】			
ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。			
【科目の概要】			
立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ	前期		
1、2	「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義		
3、4	ショルダーカット(ダーツ)		
5、6	アームホールカット(ダーツ)		
7、8	サイドカット(ダーツ)		
9、10	ウエストカット(ダーツ)		
11	ステンカラー カットで作った身頃を使用		
12	ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用		
13	台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用		
14	開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用		
15、16	身頃の復習(ダーツ)		
17、18	ブラウス シャツカラー(ショルダー切替)		
19、20	シャツカラー(上記のジャケット)		
21、22	一枚袖(上記のジャケット)		
23	タイトスカート		
24	タイトスカートのパターンどり		
25、26	フレアースカートの製作		
27、28	まとめ		
29、30	前期試験		
【成績評価方法】			
課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%			
【教科書・参考書】			
オリジナルプリント			
【教材・教具】			
トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル			

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 25% 実習 75%
時間数	60	作成者	小川 雄士

【科目の到達目標】

一年間終了時にアパレル企業やオートクチュール業界で即戦力となるドローイング表現が出来る事
日々の学生生活、及び社会人になった際に必要な知識、メンタル、意識力を習得する
画力だけではなく、人としての表現力や個性も最大限に引き出し、伸ばす

【科目の概要】

ファッション界の第一線で活躍する為に画力・表現力の向上を目的とし、技術 & 感性を磨く
一般の画材道具の他、学生の感覚を磨く為に道具や意識を変え、長所を伸ばし短所を無くす授業を展開
アパレル企業やオートクチュール業界で必要となる技術・知識・メンタル力の習得

【授業計画】 90分/コマ		前期		後期	
1	オリエンテーション 授業の準備	16	道具 手法 感覚を変化させたデザイン画	17	着色・着飾①基本編
2	ヌードボディ 各パーツの復習と応用	18	着色・着飾②応用編	19	SNSを活用した販促知識 & 応用
3	基礎画力と表現力の向上	20	選択授業②無限にデザインを考える	21	選択授業③無限にデザインを考える
4	画力と感性を磨く為のトレーニング	22	選択授業③デザイン画+プレゼン	23	絵と製作をリンクさせた技術の取得
5	柄・影・素材感などの表現	24	スピードドローイング①	25	スピードドローイング②
6	アートタッチのデザイン画の習得①	26	ファッション雑学・意識改革	27	就職&起業の為の予備知識と応用
7	アートタッチのデザイン画の習得②	28	後期の復習・課題確認・相談	29	後期テスト準備
8	アートタッチのデザイン画の習得③	30	後期テスト		
9	柄・影・素材感・アートタッチ融合				
10	選択授業①デザイン画				
11	ハンガーイラスト①基本編				
12	ハンガーイラスト②応用編				
13	前期の復習・課題確認・相談				
14	前期テスト準備				
15	前期テスト				

【成績評価方法】

提出物評価75% テスト20% 授業態度5%

(+@ 先生やクラスメイトとのコミュニケーション力・プレゼンテーション力など)

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』 小川雄士著 オリジナルテキスト その他

【教材・教具】

筆記用具、ケント紙、ドローイングペン、着色画材など
使い慣れた道具の他に、普段画材道具として使わない生活雑貨等を使用した授業も展開

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ-D	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	90	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

本授業ではアパレル商品企画・基礎知識を身に付け、自ら企画を立ててニーズに合った企画提案ができ、デザインを考える能力の向上や感性を身につけることを目標とする。

【科目の概要】

アパレル産業におけるデザイン・商品企画に必要な知識と技術を学ぶ。
 デザインするにあたって基本的な仕組みや原理を学び、洋服のデザインに応用する。
 素材の特性を知り、テキスタイルを中心にアパレルデザインを考え企画書としてプレゼンする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	プレタ出展 作品概要	16-17	企業デザイナーの仕事とクリエイション
2	デザインの概念	18-19	デザインとテキスタイル①
3	デザイン演習① ブランドコンセプト	20-21	デザインとテキスタイル②
4	デザイン演習② シーズンコンセプト	22-23	上田学園プレタポルテ展示会企画①
5	デザイン演習③ ブランド研究・リサーチ	24-25	上田学園プレタポルテ展示会企画②
6	デザイン演習④ デザイニング	26-27	上田学園プレタポルテ展示会企画③
7	デザインの領域とアパレルデザイン	28-29	上田学園プレタポルテ展示会企画プレゼン
8	デザイン発想①	30-31	企業マップ①
9	デザイン発想②	32-33	企業マップ②
10	コンテスト・コンペデザイン	34-35	企業マップ③
11	コンテスト・コンペデザイン	36-37	クリテクマップ①
12	ブランド企画①	38-39	クリテクマップ②
13	ブランド企画②	40-41	クリテクマップ③
14	ブランド企画③	42-43	プレタ企画 ミーティング
15	試験	44-45	試験

【成績評価方法】

課題60% 試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】 『ファッションニュース』株式会社INFASパブリケーション

Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年

Robert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材

ファッション週刊誌WWDジャパン

教科名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。
市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。

【授業概要】

ファッショントレンドと素材の関連性を意識、また市場の動向を踏まえながら、
アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】 90分/コマ

- 第1週 オリエンテーション
素材とファッショントレンドの関係について
- 第2週 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
- 第3週 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
- 第4週 ■布地 織物
- 第5週 ■布地 編物
- 第6週 布地まとめ
- 第7週 ■糸の種類と太さ
- 第8週 ■繊維の種類と特性
天然繊維(植物繊維)
- 第9週 天然繊維(動物繊維)
- 第10週 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 第11週 化学繊維(合成繊維)
- 第12週 ■素材の機能性
- 第13週 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
- 第14週 総復習(テスト傾向と対策)
- 第15週 総合テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 理解力(小テスト,総合テスト)50% 提出物40%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社2012年
- ・田中道一『洋服地の事典』関西衣生活研究所

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	高瀬 博文
【科目の到達目標】			
古代から18世紀末までのファッションの歴史やその背景にある思潮・美学を知り、現代のファッションへの繋がり、そして創造への活かし方を考える。			
【科目の概要】			
古代エジプト～18世紀末のフランス革命時代までのファッションについて、その時代の代表的なスタイル等を解説する。同時に、それらの生み出す美、またそれらの現代ファッションへの繋がりを理解する。			
【授業計画】	90分/コマ		
1	服飾の始原		
2	古代エジプト		
3	古代ギリシア		
4	古代ローマ		
5	ビザンチン帝国		
6	5世紀～12世紀西ヨーロッパ		
7	13世紀		
8	14世紀		
9	15世紀、16世紀前半（ルネサンス）		
10	16世紀後半		
11	17世紀（ルイ13世時代）		
12	17世紀後半（ルイ14世時代）		
13	18世紀前半（ルイ15世時代）		
14	18世紀後半（ルイ16世時代）		
15	19世紀の代表的服飾		
【成績評価方法】			
平常点の評価 70% テスト30%			
【教科書・参考書】			
小西松茂『西洋服飾史』服飾手帖社 昭和50年,			
【教材・教具】			
筆記用具			

科目名	コンピュータ演習 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

1		自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
2		〃 ロゴマーク作成
3		ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
4		〃 スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
5		〃 レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
6		〃 ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
7		〃 デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着彩する
8		〃 Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する
9	CAD	タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)
10		ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)
11		タイトスカート2本ダーツ製図
12		表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成
13		マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
14		まとめ
15		テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリント配布 データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具

科目名	ファッションビジネス論 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース オートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実技 20 %
時間数	30	作成者	三谷 和也
【科目の到達目標】 ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。			
【科目の概要】 ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う			
【授業計画】 90分/コマ 1 アパレルにおける仕事の流れ。 2 川上、川中、川下の話。 3 テキスタイル産地の現状 4 原料メーカー、専門商社、産地(デニムの知識) 5 5大コレクションと観察カトレーニング 6 機能素材の話。機能ウエアの話 7 日本のファッション史と観察力 8 繊維関係各社の仕事内容 (学生面談) 9 VMDの話 A4に実習 10 コロナ禍置けるブランド戦略(注目会社) 11 ブランド作成、ブレインストーミング 12 店舗開発についての話とパースの考え方。 13 これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義 14 オートクチュールとプレタポルテのこれから。 15 テスト 筆記試験			
【成績評価方法】 ・ 授業における評価 4 0 % ・ プレゼンテーション 2 0 % ・ 期末試験 4 0 %			
【教科書・参考書】 日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント			
【教材・教具】 ノート ・ 筆記用具			

科目名	クリエイティブワーク	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義10% 実技90%
時間数	30	作成者	小川雄士

【科目の到達目標】

衣装分野に特化した縫製・装飾メインの授業。(ウェディング・フィギュア・ボタン・チア・社交ダンス・舞台衣装 他) 就職先、または独立後に即戦力になる技術と知識を習得。

正確性、スピード、美、を求められるシーンでのあらゆるテクニックと感性を磨く。

【科目の概要】

今日のファッション業界は既存の技術や知識、感性だけでは生き延びれなくなっている為、他社(他者)との差別化を図る為の授業が必要。「作る」だけではなくビジネスとして成功する為の感覚を養う。日本のみならず、世界の舞台でも通用するような人材を育成。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
		1 【オリエンテーション】 自己紹介。カリキュラムの説明 実物の衣装や装飾品等に触れる 2・3 【テクニック・装飾】 ・企業に勤めた時に役立つテクニック各種 ・主にラインストーンの装飾技術習得 4 【デザイン・パターン・裁断・素材・道具】 ・デザイン性と機能性のバランスを考案 ・衣装を作る為の準備、心構え 5・6・7 【縫製】 ・ストレッチ素材、薄手素材、特殊素材 他 ・各パーツ毎に分けた技術習得 8 【講義】 ・就業時に学んだものを後世に伝える ・一点ものの面白さと難しさ ・ビジネスで成功する為の秘訣、裏技等 9・10・ 【縫製・装飾】 ・裾や裏の始末他、アクセサリ製作 ・自ら縫製したアイテムの装飾 12 【復習】 ・過去の復習、おさらい、調整 13・14 【自由課題・プレゼン】 ・個々で作品制作。将来のブランドを意識 15 【テスト・講義】 ・半期の総まとめ。社会に出る為の準備

【成績評価方法】

提出物評価50% テスト20% プレゼンテーション10% 授業態度20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具・縫製道具・生地・装飾品・衣装など

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント